

2014年(平成26年)

11/10

No.1067

東京都トラック時報

昭和43年8月16日 第三種郵便物認可 毎月2回(10・25日)発行 1部 90円(送料別)

機関紙

一般社団法人
発行所 東京都トラック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-8
(東京都トラック総合会館)

☎(03) 3359-6251 (代表)

☎(03) 3359-4134 (広報部)

【ホームページアドレス】http://www.totokyo.or.jp/

東ト協は、国連エコドライブカンファレンスで、グリーン・エコプロジェクト(GEP)事業についてプレゼンテーションを行い、GEPの取り組みと成果を世界に情報発信した(10月25日号既報)。



国連エコドライブ会議でプレゼン



同じセッションに参加する米国土道協会のG.P.ケネディ副会長と面談する大高会長

東ト協は、国連エコドライブカンファレンスで、グリーン・エコプロジェクト(GEP)事業についてプレゼンテーションを行い、GEPの取り組みと成果を世界に情報発信した(10月25日号既報)。



東ト協 GEP、世界に発信

東ト協からは大高一夫会長をはじめ、浅井隆志村正之・江森東の各副会長、綿引正明専務理事らが出席した。

東ト協からは大高一夫会長をはじめ、浅井隆志村正之・江森東の各副会長、綿引正明専務理事らが出席した。

自民党 トラック議連総会

自民党トラック輸送振興議員連盟(細田博之会長)の総会が10月24日、千代田区の同党本部で開かれ、席上、全日本トラック協会の星野良三会長は、全国から集まった燃料高騰対策を求める賛同署名を出席議員に示し、軽油引取税・旧暫定税率の廃止など業界要望の実現を強く訴えた。

細田会長は総会あいさつで、「業界は今が踏ん張りどころ。一致結束して難局打開に向けて取り組む」と述べた。

一方、星野会長は、燃料高騰対策を求める署名が目標の2倍以上も集まったと説明し、「ぜひとも業界要望を新年度予算などに反映していただきたい」と訴えた。

総会では、業界が特に実現を求める最重要事項として、①軽油引取税の旧暫定税率廃止など、②高速度料金における大口・多頻度割引の継続、③自動車税における環境性能課税(環境性能割)に係る軽減を訴えた。

このうち環境性能課税については、大高一夫副会長(東ト協会長)が説明し、営業用トラックに対する軽減措置などを要望した。

出席議員からは、旧暫定税率の課税を停止する「トリガー条項」の凍結解除を求める意見が相次いだほか、これに代わる現実的措置の検討も提起された。



東ト協 物流政策委員会 運賃・駐車問題 各小委 始動へ

東ト協では、組織の柱である委員会活動の一層の充実・強化を目指して常任委員会体制を見直し、今年6月の総会後から新体制に移行した。

現状打開に向け 対応策を検討

東ト協では、組織の柱である委員会活動の一層の充実・強化を目指して常任委員会体制を見直し、今年6月の総会後から新体制に移行した。

東ト協では、大高会長らが掲げる「会員・支部重視」の方針に基づき、広域的課題への対応を一段と強化していく方針だ。

東ト協では、大高会長らが掲げる「会員・支部重視」の方針に基づき、広域的課題への対応を一段と強化していく方針だ。

東ト協では、大高会長らが掲げる「会員・支部重視」の方針に基づき、広域的課題への対応を一段と強化していく方針だ。

東ト協では、大高会長らが掲げる「会員・支部重視」の方針に基づき、広域的課題への対応を一段と強化していく方針だ。

東ト協では、大高会長らが掲げる「会員・支部重視」の方針に基づき、広域的課題への対応を一段と強化していく方針だ。

政策的課題への対応強化

東京都トラック協会(大高一夫会長)は、かねて業界の重要課題となっていた、適正運賃収受と駐車問題に関して、物流政策委員会(浅井隆志委員長)のもとに小委員会を相次いで設置し、対応強化に動き出した。

東京都トラック協会(大高一夫会長)は、かねて業界の重要課題となっていた、適正運賃収受と駐車問題に関して、物流政策委員会(浅井隆志委員長)のもとに小委員会を相次いで設置し、対応強化に動き出した。

東京都トラック協会(大高一夫会長)は、かねて業界の重要課題となっていた、適正運賃収受と駐車問題に関して、物流政策委員会(浅井隆志委員長)のもとに小委員会を相次いで設置し、対応強化に動き出した。

東京都トラック協会(大高一夫会長)は、かねて業界の重要課題となっていた、適正運賃収受と駐車問題に関して、物流政策委員会(浅井隆志委員長)のもとに小委員会を相次いで設置し、対応強化に動き出した。

東京都トラック協会(大高一夫会長)は、かねて業界の重要課題となっていた、適正運賃収受と駐車問題に関して、物流政策委員会(浅井隆志委員長)のもとに小委員会を相次いで設置し、対応強化に動き出した。

東京都トラック協会(大高一夫会長)は、かねて業界の重要課題となっていた、適正運賃収受と駐車問題に関して、物流政策委員会(浅井隆志委員長)のもとに小委員会を相次いで設置し、対応強化に動き出した。

東京都トラック協会(大高一夫会長)は、かねて業界の重要課題となっていた、適正運賃収受と駐車問題に関して、物流政策委員会(浅井隆志委員長)のもとに小委員会を相次いで設置し、対応強化に動き出した。

東京都トラック協会(大高一夫会長)は、かねて業界の重要課題となっていた、適正運賃収受と駐車問題に関して、物流政策委員会(浅井隆志委員長)のもとに小委員会を相次いで設置し、対応強化に動き出した。

軽油・旧暫定税率の廃止を!

全国の賛同署名示し実現求める

全国の賛同署名示し実現求める

全国の賛同署名示し実現求める

全国の賛同署名示し実現求める

全国の賛同署名示し実現求める

要望「実現する会」

全日本トラック協会と道路運送経営研究会は11月13日、平成26年度「トコ協」が説明し、営業用トラックに対する軽減措置などを要望した。

全日本トラック協会と道路運送経営研究会は11月13日、平成26年度「トコ協」が説明し、営業用トラックに対する軽減措置などを要望した。

燃料高騰対策

燃料高騰が事業経営を直撃し、深刻な影響が出ていることの証左で、燃料高騰対策を求める声が一層と強まっている。

燃料高騰が事業経営を直撃し、深刻な影響が出ていることの証左で、燃料高騰対策を求める声が一層と強まっている。

賛同署名約207万人に

署名活動は、9月末までに100万人を目標として展開。その結果、全国から集まった署名数は、11月4日現在で207万2325人に達している。

署名活動は、9月末までに100万人を目標として展開。その結果、全国から集まった署名数は、11月4日現在で207万2325人に達している。

紙面あんない

国交省、適正取引推進「強化月間」東ト協、国連会議でGEPアピール中央支部が事故防止事業者大会

国交省、適正取引推進「強化月間」東ト協、国連会議でGEPアピール中央支部が事故防止事業者大会

「環境」対応の契約要件化

東京都など首都圏九都

県市首脳会議の環境問題
対策委員会がこのほど、
「環境により良い自動車
利用」を呼びかけるリー
フレットを制作し、環境
負荷が小さい輸配送の推
進を呼びかけている。

九都県市首脳会議が呼びかけ

環境負荷小さい輸配送の推進へ

首都圏ではディーゼル
車規制などにより、大気
環境は着実に改善してき
ているが、継続的・安定
的に環境基準をクリアし
ているとは言えない状況



注目すべきことは、「環
境により良い自動車」の
使用を、運送事業者ほか
りでなく、依頼する側の
荷主企業に対して呼びか
け、環境負荷が小さい輸
配送を展開する運送事業
者を選択・利用するよう
求めていることだ。

さらに運送契約に当た
って、低公害・低燃費車
の使用やエコドライブの
推進などを求める、いわ
ば「環境」要件を盛り込
むように促し、具体的な
記載例も提示している。

このリーフ
レットで特に
注目すべきことは、「環
境により良い自動車」の
使用を、運送事業者ほか
りでなく、依頼する側の
荷主企業に対して呼びか
け、環境負荷が小さい輸
配送を展開する運送事業
者を選択・利用するよう
求めていることだ。

環境対策を積極的に推
進する事業者にはこれま
で、その取り組み努力が
運送契約などで必ずしも
評価されないというジレ
ど。

11月 適正取引推進「強化月間」

燃料高騰の転嫁促進へ

国土交通省は、11月を
「適正取引推進(サーチャ
ージ導入・価格転嫁)強
化月間」として、荷主な
らへ

国土交通省は、11月を
「適正取引推進(サーチャ
ージ導入・価格転嫁)強
化月間」として、荷主な
らへ



「強化月間」
を設定・実施し
必要な知識の周知

国土交通省は、11月を
「適正取引推進(サーチャ
ージ導入・価格転嫁)強
化月間」として、荷主な
らへ

国土交通省が実施した元請
・物流子会社に対する調
査結果によると、燃料高
騰分を全く収受できてい
ない元請事業者が約3割
に上り、その他の元請に
ついては、半数以上が一
部しか収受できていない
のが実情。

次世代の運行記録計 実用化に向け検討会

国土省自動車局

国土交通省自動車
局は10月31日、第
一回「次世代運行管
理・支援システム
」についての検討会
を開催した。

「トラックにおける運行
記録計の装着義務付け対
象の拡大のための検討
会」で、今後の「運行記録
計の普及・義務化ロード
マップ」を示したが、こ
れに基づき、次世代シ
ステムの構築・実用化に
向けて検討会を発足させ
た。

検討会は、日本自動車
研究所の永井正夫所長を
議長とする。

また新免許区分の創設
について、次期通常国会
での成立に向けて速やか
な法案作成を要請すると
ともに、法律改正から施
行までの期間について、
中型免許創設を中心とし
た、前回の制度改正時の
3年間より「1年程度の
前倒し」を求めた。

新運転免許制度 取得負担の軽減を 警察庁に要望

全ト協

全日本トラック協会は
10月22日、警察庁に対し
て「貨物自動車に係る運
転免許制度のあり方に関
する要望」を提出し、早
期の制度改正・施行と
ともに、新制度における免
慮するよう要望。

具体的にはまず、新免
許制度の教習時間などに
関して、安全性の確保を
図りつつ、可能な限り免
許取得者の負担軽減に配
慮するよう要望。

施行1年程度前倒しを

このため全ト協では、
年内にもドライブレコー
ダーなど安全機器の普
及・活用や、初任運転者
に対する教育の充実とい
った対策を取りまとめ、
業界として全力を挙げて
交通事故防止に取り組む
旨を説明し、要望に理解
を求めた。

エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS

NGVを選ぶことが
地球の未来を変える。

- 天然ガスを燃料とするNGV(天然ガス自動車)は、燃料多様化によりエネルギーセキュリティに貢献
- 天然ガスの可採年数は250年程度(出典: IEA World Energy Outlook 2011)
- 天然ガスは燃やしてもSOxや黒煙を発生しないクリーンなエネルギー

東京ガス株式会社 NGV事業部 〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20 TEL.03-5400-6772 http://eee.tokyo-gas.co.jp/ngv

おかげさまで
40000台突破

日本の天然ガス自動車普及台数は、4万台を突破いたしました。(9/23現在)

運輸 点描

港湾の混雑緩和や輸送効率化に有効な対策とされる、海上コンテナのラウンドユースが荷主主導で広がりつつある。輸出メーカーが構築した、内陸のデポを活用してコンテナのマッチングを行う仕組みに、10社以上の輸入企業に参加。ラウンドユースのパートナー探しを支援する目的で、荷主に限定した情報交換サイトの開設も進んでいる。

荷主主導でラウンドユース実現

東京港埠頭は今年3月に、コンテナのラウンドユースを促進するため、荷主限定の会員制情報交換サイト「TOP ONE」を開設した。社名・物流拠点・輸出入の区分・コンテナの種類などを登録し、会員同士で情報を共有する。これまでに約30社の会員が40数件の情報を登録している。

デバンニングした輸入コンテナを輸出コンテナに転用する「ラウンドユース」は、空コンテナの引き取りや返却が不要なため、港への往復が1度で済む。コスト削減とともに、港湾の交通渋滞の緩和策としても有効だ。東京港埠頭が定期的に開いている荷主企業との意見交換の場で、ラウンドユースへの強い関心が寄せられたことから、パートナー探しを支援する目的で「見合いサイト」の開設を決めた。

作業予定情報を照合

ラウンドユースは、コンテナの所有船社や種類・サイズが異なる場合は成立しない。運用に様々な課題がある中で、荷主主導によって実現にこぎつけた事例がある。建設機械メーカーのク

2週間でコンテナマッチング ICTに長期滞留しない仕組み

ボタは一昨年に、茨城県内のインランドコンテナターミナル（ICT）を中継地として活用し、筑波工場から東京港を経由して輸出するコンテナのラウンドユースを、10数社の輸入企業と開始した。

従来、ICTを中継するラウンドユースでは、コンテナのアンマッチングによって、空コンテナがICTに長期滞留するという問題があった。

そこで、クボタは「2週間」という期間の中でコンテナを確実にマッチングさせるラウンドユースの仕組みを考案した。

輸出入企業のコンテナ作業予定情報を照合し、輸入コンテナがデバンニングから2週間以内で輸出可能か否かをチェック。所有船社やタイプが合致して転用可能なコンテナだけを、輸入側がデバンニング後にICTへ搬入する。2週間という幅を設けることで、マッチング率はアップする。

運送事業者にもメリットが出るようにするため、この仕組みでは空コンテナをICTに搬入したトラックが、帰りに別の輸出コンテナを港へ輸送するためのマッチングも行い、往復でコンテナを輸送できるようにしている。

船社との契約では、マッチング期間の2週間間で、輸入コンテナがデバンニングから2週間以内で輸出可能にするため、この仕組みでは空コンテナをICTに搬入したトラックが、帰りに別の輸出コンテナを港へ輸送するためのマッチングも行い、往復でコンテナを輸送できるようにしている。

同社は、この仕組みを東京港の混雑緩和への一つのモデルケースとして、積極的にアピールしている。

（ジャーナリスト 巴 未希）

エコドライブ 総合プログラム 実証事業

26年度補助2次公募 受付 11月10～18日

平成26年度「省エネルギー型ロジスティクス等推進事業費補助金（省エネルギー型陸上輸送実証事業）」の一環である、「省エネルギー型トラック運送に係るエコドライブ総合プログラム実施の実証事業」第2次公募受付が、11月10日から18日（当日消印有効）まで行われる。

同事業はエコドライブの推進



実証事業

効果を実証するため、トラック運送事業者が専門のコンサルタント会社から、エコドライブ指導を受けるために必要な経費などの一部（2分の1以内）を補助するもの。

国土交通省と経済産業省資源エネルギー庁の連携事業として実施。

2次公募予算額は約6・1億円（補助申請の合計）

全ト協表彰

対象者の推薦を！

推薦期限 12月5日

全日本トラック協会の表彰規程による表彰が行われます。

表彰基準に該当する対象者について、所属支部を通じて、12月5日（厳守）までに東京都トラック協会本部へ推薦してください。

2週間でコンテナマッチング ICTに長期滞留しない仕組み

ボタは一昨年に、茨城県内のインランドコンテナターミナル（ICT）を中継地として活用し、筑波工場から東京港を経由して輸出するコンテナのラウンドユースを、10数社の輸入企業と開始した。

従来、ICTを中継するラウンドユースでは、コンテナのアンマッチングによって、空コンテナがICTに長期滞留するという問題があった。

そこで、クボタは「2週間」という期間の中でコンテナを確実にマッチングさせるラウンドユースの仕組みを考案した。

輸出入企業のコンテナ作業予定情報を照合し、輸入コンテナがデバンニングから2週間以内で輸出可能か否かをチェック。所有船社やタイプが合致して転用可能なコンテナだけを、輸入側がデバンニング後にICTへ搬入する。2週間という幅を設けることで、マッチング率はアップする。

運送事業者にもメリットが出るようにするため、この仕組みでは空コンテナをICTに搬入したトラックが、帰りに別の輸出コンテナを港へ輸送するためのマッチングも行い、往復でコンテナを輸送できるようにしている。

船社との契約では、マッチング期間の2週間間で、輸入コンテナがデバンニングから2週間以内で輸出可能にするため、この仕組みでは空コンテナをICTに搬入したトラックが、帰りに別の輸出コンテナを港へ輸送するためのマッチングも行い、往復でコンテナを輸送できるようにしている。

同社は、この仕組みを東京港の混雑緩和への一つのモデルケースとして、積極的にアピールしている。

（ジャーナリスト 巴 未希）

第54回

「正しい運転・明るい輸送運動」表彰

功績者・事業所等推薦を！

推薦期限 27年1月30日

全ト協は、第54回「正しい運転・明るい輸送運動」の実施期間中（平成26年11月16日～27年1月10日）に功績のあった優良な従業員・事業所・団

表彰基準

「正しい運転・明るい輸送運動」の実施に当たり、次の基準に該当するトラック運送事業者ならびに運送取扱事業者の従業員・事業所・団体について、選考の上、表彰する。

（1）本運動期間中に無事故であり、かつ本運動を含む暦年の1年間に

（2）本運動の目標に添う事項に関し、本運動期間中に関係当局、地方公共団体あるいは荷主から、感謝もしくは表彰された従業員・団体。

（3）荷役機械、自動車部品および作業方法など

（4）人命救助、重大事故を防止し、交通安全・サービス向上などに功績のあった従業員・事業所・団体。

（5）その他、事業経営の改善・向上、交通事故防止、作業安全・サービス向上などに功績のあった従業員・事業所・団体。

▽問い合わせ先 東京都協運行管理部（03・3359・3618）

11月はエコドライブ推進月間

11月19日にシンポジウム開催

11月19日、千代田区の内幸町ホールでエコドライブシンポジウムが開催される。

警察庁・経済産業省・国土交通省・環境省で構成するエコドライブ普及連絡会は、11月を「エコドライブ推進月間」として各種普及・推進活動を展開している。

平成18年度策定の「エコドライブ普及・推進アクションプラン」に基づき、各省庁が連携して取り組むもので、具体的には「エコドライブ10のすすめ」と表彰式、取り組み事例をもとに普及・推進を図る。

このための普及活動の一環として、エコドライブ普及推進協議会と交通エコロジー・モビリティ財団の主催で11月19日、千代田区の内幸町ホールでエコドライブシンポジウムが開催される。

同シンポジウムは、エコドライブ活動の紹介などが行われる。

（4）人命救助、重大事故を防止し、交通安全・サービス向上などに功績のあった従業員・事業所・団体。

（5）その他、事業経営の改善・向上、交通事故防止、作業安全・サービス向上などに功績のあった従業員・事業所・団体。

国連でGEP成果アピール

公式文書保存し 各国で活用へ



東京都トラック協会は、環境対策の重点事業として推進するグリーン・エコプロジェクト(GEP)事業の取り組みと成果について、10月17日に国連本部で開催の国連エコドライブカンファレンスで紹介し、広く国際的にアピールした。同会議は国連WAFU NIF(国連直属のNGO組織)主催(GEP事務局を務めるアシアが共催)、日米各自動車工業会の協力、環境省の特別協力により、地球環境対策のための低炭素社会の実現やエコドライブ推進をテーマに開催されたもの。

東ト協からは、大高一夫会長や志村正之副会長(環境委員長)らが訪米して、同会議に出席。「エコドライブによるソリューション」をテーマとしたセッション3(司会進行/早稲田大学・大聖泰弘教授)に、パネリストとして環境部の遠藤啓二部長が参加し、最初に、GEP活動のプレゼンテーションを行った。プレゼンでは、PR映像(DVD)「1枚の紙と鉛筆から始まるCO2削減」を上映しながら、取り組み内容と成果などを紹介。運転者による燃費管理を通じて燃費意識を高め、エコドライブを推進し、大幅なCO2排出削減を達成するとともに、交通事故防止でも大きな成果を上げていることをアピールした。



大高会長から感謝状を受領する鈴木社長

全ト協「Gマーク」PR走行に協力

七福運送に感謝状

安全性優良事業所認定制度(Gマーク制度)の「Gマーク」をデザインしたラッピングトラックによるPR走行に協力した。七福運送は、Gマークの認知度向上とともに業界のイメージアップに貢献したとして、全ト協から表彰されることになった。これに伴い10月22日、東ト協本部で同社の鈴木祥太社長に対して、大高一夫会長から感謝状や記念品が贈られた。

協会日誌

- 10月16～31日
- 16日 グリーン・エコプロジェクトセミナー(17日)
- 17日 国連エコドライブカンファレンスに出席
- 19日 女性部交通遺児援助活動
- 20日 事務局部長会(グリーン・エコプロジェクトセミナー)(21日)
- 21日 鉄鋼専門部会安全環境委員会
- 22日 ロジ研、大高会長との意見交換会(物流経営士課程開講式)同記念講演(ロジ研、関運局・支局・全ト協との意見交換会)
- 24日 事務長連絡会研修見学会(総務小委員会)
- 27日 渋谷支部正副支部長等支部幹部と大高会長及び支担当副会長との意見交換会(適正化事業実施機関評議委員会)
- 28日 プリヂェストンリットドタイヤ(更生タイヤ)研修会(指導監査)緊急輸送システム検討委員会(ペーパーレス化推進委員会)
- 29日 関東ブロック適正化事業指導員研修会(30日)首都直下地震防災訓練に参加(引越専門部会引越管理者講習)
- 31日 東京運輸支局との連絡会議

東ト協 首都直下地震 防災訓練に参加

葛西ITまで緊急輸送 東ト協は、10月29日に実施された平成26年度首都直下地震防災訓練(実動訓練)に参加し、救済物資の緊急輸送訓練を行った。国土交通省関東地方整備局が関東防災連絡会と共催で実施したもの。首都南部を震源とした大規模地震が発生し、都東ト協の輸送隊は、川崎市東扇島防災拠点から海上輸送された救済物資を「小松川リバーステーション」で受け取り、調整局関係機関が道路再開したルートで走行。江戸川区に到着し、緊急輸送物資を引渡した。



緊急輸送物資を引渡した

日程ボード

11月16～30日

- 16日(日) 8時30分集合(女性部女性経営者研修見学会)(17日)
- 17日(月) 東ト協チャリティゴルフ大会(狭山G.C.)(13時30分)女性部、群馬県トラック協会女性経営者との交流会(群ト総合会館)
- 18日(火) 15時 本部事故防止大会の在り方検討小委員会(東ト総合会館)
- 19日(水) 18時30分 青年部研修会(オープン研修)(東ト総合会館)
- 20日(木) 13時 女性部正副本部長会(東ト総合会館) 17時 関ト協青年部会総務委員会(同)
- 21日(金) 10時 鉄鋼専門部会安全環境委員会(東ト総合会館) 10時 30分 関ト協専務理事連絡会(同) 13時 故創新セミナー(シンガポール、24日)
- 22日(土) 11時30分 交通栄誉章「緑十字銅章」伝達式(ランドアーク半蔵門) 15時 総務小委員会(東ト総合会館) 16時 10分 ロジ研本部連絡会(同) 16時30分 食糧専門部会(トカー熱海)
- 28日(金) 13時30分 総務委員会(東ト総合会館)

東ト協 環境委員会 リットドタイヤ 研修会

東ト協環境委員会(志村正之委員長)は10月28日、環境委員およびグリーン・エコプロジェクト

(GEP)参加の事業者を対象に、「プリヂェストンリットドタイヤ(更生タイヤ)研修会」を開催した。



リットドタイヤはグリーン購入法の特定調達品目に指定されていることから、東ト協は今年度から、その導入補助を実施する。これに先立って、その普及・活用に向けて、昨年度に続き研修会を実施したもの。今年度は、千葉県市原市のプリヂェストン「バンドグ・リットド千葉ファクトリー」で実施。品質確保を徹底した製造工程や検査体制などを視察する

とともに、開発状況やメリットなどについて説明を受けた。また、リットドタイヤを再利用するため、環境保全・経費削減が図れるメリットがあり、プリヂェストンではリットドを2回実施可能な新型タイヤも開発している。一方、安全性に關しては、過酷な使用環境となる航空機の車輪などにも採用されており、既に安全技術が確立しているという。

なお、東ト協では現在、導入補助の実施に向けて調整中。

連携して 活動推進へ

東ト協 女性部

福岡ト協 女性協議会と交流会

東ト協女性部(原玲子本部長)は10月10日、業界における女性経営者組織との交流活動の一環として、福岡県トラック協会女性協議会(大島環会長)と交流会を行い、今後の活動のあり方などについて意見交換した。福岡ト協女性協議会は今年4月に発足し、組織発足後の初の対外活動として、東ト協女性部との交流会を行ったものだ。交流会は、前日に全国トラック運送事業者大会が行われた福岡市のヒルトン福岡シーホークで開催。東ト協女性部から原本部長をはじめ内田發子・楯利和子・長谷川明子各副本部長、福岡ト協女性協議会から大島環会長をはじめ坂平順子・中野菜穂各副会長らが出席。女性経営者組織としての活動状況や業界課題への取り組みなどに関して、それぞれ説明した上で意見交換するとともに、相互に交流・連携を深めていくことなどを確認した。東ト協女性部は、関東圏をはじめとして各地域の女性経営者組織と活発に交流活動を展開している。福岡ト協女性協議会の発足に際し、原本部長が設立総会に来賓として出席し、相互の連携・交流を呼びかけており、今回、交流会を行ったものだ。



福岡ト協女性協議会の発足に際し、原本部長が設立総会に来賓として出席し、相互の連携・交流を呼びかけており、今回、交流会を行ったものだ。

新会員

- 〔葛飾支部〕
- ◆株式会社オーケート
- ランスポート 足立区花畑2の8の16 03・5856・5633
- ▽一般貨物(小型車)3台、利用運送

「10月9日」 トラックの日

■10月11・12日(土・日)
【八丈島支部
(秋田捷支部長)】

今年も初日の11日に底土海岸壁橋前で、交通安全や「トラックの日」をアピールする横断幕を付けたトラックを並べて、PR活動。揃いのベストと帽子着用の支店メンバーが、フリーで来島した人たちが島民に、本部ノベルティや支店を用意したボールペンを配布した。翌日には大賀郷小学校で開催された八



八丈島支部

ノベルティを配布しながらPR活動。大人にはエコバッグ、子供たちには何でも書ける「じゅうちよう」や水風船のヨーヨーをプレゼントした。

■10月19日(日)

【練馬支部
(佐久間恒好支部長)】

「としまえん」を会場に行われた第37回「練馬



板橋支部



練馬支部

東ト協各支部が活動

■11月2・3日(日・月)
【大田支部
(佐藤雄平支部長)】

平和島競艇場周辺エリアで開催された「OTAふれあいフェスタ」(大田区主催)に今年も参加した2日間わたって、屋



大田支部

環境省 エコドライブなど 小学校へ出前授業



環境省の「エコドライブプロジェクト」の一環として、エコドライブに関する出前授業が10月30日、神奈川県川崎市の子母口小学校で行われ、東ト協環境部の遠藤啓二部長が特別講師として協

力した。東ト協ではグリーン・エコプロジェクト(GEP)事業により、エコドライブ推進で大きな成果を上げ、優れたノウハウを蓄積していることから、要請を受けた。出前授業は同校の5年生を対象に行われ、地球温暖化の現状や今後の予測、対策の必要性などについて教えるとともに、エコドライブの仕方や重要性についてクイズ形式で説明。遠藤部長はクイズの解説役として、エコドライブのためにはゆっくり発進・ゆっくり停止や、アイドリングストップなどが重要と説明。あわせて「緑ナンバートラック」が日常生活に必要な物資を運び、都民生活を支える重要な役割を担っていることなどを紹介した。なお、これに先立ち、10月22日に板橋区の小学校で開催された出前授業でも、遠藤部長が特別講師として協力した。

事故防止 事業者大会

中央支部

東ト協中央支部(中川卓三支部長)は11月5日、中央区の月島社会教育会館4階ホールで平成26年度事故防止事業者大会を開催。安全運行の徹底など「企業の安全最優先の風土」構築・定着と、官民一体の「安全最優先」を宣言

東ト協中央支部(中川卓三支部長)は11月5日、中央区の月島社会教育会館4階ホールで平成26年度事故防止事業者大会を開催。安全運行の徹底など「企業の安全最優先の風土」構築・定着と、官民一体の「安全最優先」を宣言

大会では、関東交通共済協同組合の涌井孝専任講師が「事故の背景と『身近な管理』」と題して講演。事故を起こさないようにするためには、運転者に対する日常的な管理や配慮が重要とし、「まずは運転者を労い、褒めるといったことから始めてはどうか」とアドバイ

東ト協江戸川支部(森本勝也支部長)の清掃活動後、森本支部長があいさつし、「今回の清掃活動は、支部三組織が地域社会への貢献活動の一環で行ったものだが、地域社会に対する貢献は、企業経営の基本。パフォー

三組織の会員事業者が10月25日、地域社会への貢献活動の一環として、環七沿いで歩道などの清掃活動を行った。同日は「マナーアップ交通安全」と記したノボリ旗を掲げ、安全運転の励行を呼びかけながら実施。黄色の帽子とジャンパーを着用した支部会員が、環七通り沿いの歩道や中央緑地帯などに捨てられたゴミを拾って歩



「築地市場まつり」参加

「緑ナンバー」の役割PR

東ト協

東ト協は「トラックの日」本部イベントの一環として11月2日、中央区築地の築地市場内で開催された「築地市場まつり」に参加し、PR活動を行った。

出展ブースでは、業界で取り組む事故防止対策や環境対策に関するパネルを展示するとともに、チラシなどを配布して、生活や経済・産業活動を支える「緑ナンバートラック」の役割をアピールした。さらにブースでは、東ト協中央支部や東京都中央卸売市場輸送協力会、および生鮮食品専門部会とともに、訪れた親子連れなどに対してノベルティを配布。トラックの乗車体験なども行い、直接、トラックに接し親しんでもらった。



築地市場まつりは、4年ぶりの開催。同日は、全国から集まった魚介類・加工品・青果物の販売や鍋グランプリなど、様々なイベントが催され、多くの人たちが訪れた。



中川支部長は「安全宣言を採択し、今後、事故防止活動の徹底を図っていく。各事業者・管理者・運転者の協力をお願いする」と述べた。来賓として本部長(運輸安全委員長)があいさつ。「会員第一当の死亡事故が7

安全運行へ7項目徹底



東ト協江戸川支部(森本勝也支部長)の清掃活動後、森本支部長があいさつし、「今回の清掃活動は、支部三組織が地域社会への貢献活動の一環で行ったものだが、地域社会に対する貢献は、企業経営の基本。パフォー

清掃活動後、森本支部長があいさつし、「今回の清掃活動は、支部三組織が地域社会への貢献活動の一環で行ったものだが、地域社会に対する貢献は、企業経営の基本。パフォー

トラック事故速報 死亡事故

問い合わせ先：東京都トラック協会 運行管理課 ☎03-3359-3618

○自転車をみかけたら、ふらつき、急な横断等を予測し、間隔を十分に取ること!!

日時 10月14日(火) 9時35分頃発生
場所 千代田区内(白山通り<都道>)
当事者 事業用大型貨物車(60歳代前半) × 自転車(男性52歳 死亡)
 家用普通乗用車(40歳代前半)

状況

概要 事業用大型貨物車は、白山通りの第2通行帯を外堀通り方向から靖国通り方向に進行する際、第1通行帯から第2通行帯に進路変更してきた自転車と接触し、さらに停止中の家用普通乗用車と接触、転倒した自転車を轢過したものの。

日時 10月21日(火) 17時56分頃発生
場所 品川区内(第一京浜<国道15号>)
当事者 ①自動二輪車(男性44歳 死亡) × ②事業用普通貨物車(50歳代前半)
 ③家用普通貨物車(50歳代前半)

状況

概要 ①自動二輪車は、第一京浜を大森方向から品川方向へ進行中、第1通行帯を直進していた②事業用普通貨物車の右後輪に接触後、転倒し、第2通行帯を後方から進行してきた③家用普通貨物車に轢過されたものの。

○交差点右左折時は、横断歩道手前で必ず一時停止し、指差し呼称による左右の安全確認を徹底すること!!

日時 10月22日(水) 12時08分頃発生(雨天)
場所 江戸川区内(蔵前橋通り<都道>)
当事者 事業用中型貨物車(50歳代前半) × 歩行者(女性67歳 死亡)

状況

概要 事業用中型貨物車は、信号機のある交差点を青信号に従い平井橋方向から江東新橋方向へ右折する際、青信号に従い右方から左方へ横断歩道上を横断中の歩行者と未発見のまま衝突し、轢過したものの。



自動車関係 功労者・運転者 国交大臣表彰

国土交通省は10月27日、千代田区霞が関の同省共用大会議室で平成26年「自動車関係功労者・運転者大臣表彰式」を開催し、功労者・運転者205人を表彰した。トランプ関係の受賞者は55人で、このうち東京都トラック協会関係では8人が受賞した。

表彰式では太田昭宏大臣があいさつし、受賞者の功績をたたえた上で「自動車の各分野が今後さらに発展していくためには安全性の向上、事故防止、環境問題への対応、人材の確保・育成対策など、解決すべき課題は少なくない」と指摘。

「自動車運送事業者に対する監査体制の強化、運転者の健康状態に起因する事故対策の強化、車両の安全基準の遵守や適切な点検整備の確保など、安全性の向上、事故防止について総合的な取り組みを推進していく」と述べた。

国交省として「自動車運送事業者に対する監査体制の強化、運転者の健康状態に起因する事故対策の強化、車両の安全基準の遵守や適切な点検整備の確保など、安全性の向上、事故防止について総合的な取り組みを推進していく」と述べた。

東ト協関係8人が受賞

受賞者は次の通り(敬称略、カッコ内は会社名・支店名)。

功労者 平岡祐介(丸天運送・千代田)▽齊藤ミヨ(大東運輸・大田)▽志村正之(志村運送・杉並)▽荒井秋海(オオツカ・練馬)▽越智久夫(越智運送店・城東)▽小川和美(辨天おがわ運輸・江戸川)▽田代昌明(三急運輸・足立)▽芦澤豊樹(明創運輸・多摩)。

なお、東ト協の水野功副会長が元・日本陸送協会長としての功績により、大臣表彰を受けた。

全日本トラック協会は、神奈川県警察本部からの通達「高速道路における不正通行防止のため10月14日付」を受け、トラクタの不正通行の防止徹底を呼びかけている。車軸自動昇降装置(リ

高速料金所の不正通行防止徹底へ注意喚起 全ト協

フトアクセス)機能とETCシステムを悪用し、料金所手前で後前軸を上げて3軸走行し、これにより本来は「特大大車」であるトラクタを「大車」と認識させ、一部料金を免れる不正行為が発覚した。こうした不正通行は犯罪であるばかりでなく、重大事故につながるおそれがあるとして、その防止徹底を求めている。

○交差点付近では、前車の動向に十分注視し、漫然と追従運転しないこと!!

日時 10月28日(火) 6時30分頃発生(晴天)
場所 港区内(海岸通り<都道>)
当事者 家用普通乗用車(60歳代前半) × 自動二輪車(男性60歳 死亡)
 事業用普通貨物車(60歳代前半)

状況

概要 家用普通乗用車は、海岸通りを芝浦方向から汐留方向に進行する際、前方で何らかの理由により停止した(信号等確認中)自動二輪車に追突したところに、さらに後方から進行してきた事業用普通貨物車が同乗用車に追突したため、押し出された同乗用車が自動二輪車を轢過したものの。

違反別 営業用トラック関与の交通事故 (平成26年9月末)(本年累計件数)

違反別	安全不確認	前方不注意	交差点安全進行	歩行者妨害	一時停止不停止	ハンドブレーキ無視	信号無視	徐行違反	右左折	その他	計	発生件数
大型	106	104	23	12	0	16	6	0	1	72	340	111
関与事故件数	111	106	26	12	0	16	6	0	1	113	391	191
(前年比)	-6	+5	-9	+7	+0	-8	-2	+0	+0	+1	-12	693
中型	191	209	70	29	1	42	15	0	2	134	693	201
関与事故件数	201	211	87	29	1	42	16	1	2	284	874	191
(前年比)	-33	-20	-31	+1	-3	+4	-1	+0	+2	-18	-99	883
普通	335	186	152	21	7	39	17	0	0	126	883	347
関与事故件数	347	186	171	21	7	39	18	0	0	404	1,193	191
(前年比)	+59	-26	-30	-11	-5	-4	+4	-1	-4	-15	-33	1,916
合計	632	499	245	62	8	97	38	0	3	332	1,916	659
関与事故件数	659	503	284	62	8	97	40	1	3	801	2,458	191
(前年比)	+20	-41	-70	-3	-8	-8	+1	-1	-2	-32	-144	2
死者数	2	2	0	3	0	0	0	0	0	1	8	2
大型貨物車(1当)	1	5	2	1	0	0	1	0	0	2	12	1
中型貨物車(1当)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
普通貨物車(1当)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0

注：営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。
 ※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

平成26年9月末現在の都内全域の交通事故発生件数(本年累計)は27,418件で、前年同期比3,513件減少し、死者数は104人で同5人の減少となった。営業用貨物車の関与事故(「違反別」表の下段「注」参照)発生件数(本年累計)は、2,458件で前年同期比144件減少し、死者

数は22人で同6人増加した。事故類型別では、右左折時の車両相互事故が294件で前年同期比27件の減少で、死者数は5人だった。違反別では、安全不確認による関与事故が659件で、同20件の著しい増加となっている。

営業用トラック関与の交通事故の特徴 「青だけども車は私を見てるかな！」

トラック事業者のための 自動車共済

安全と安心をお届けして43年。
 関交協は、みなさまと共に歩みつづけます。

みんなが助ける みんなが助かる



関交協

関東交通共済協同組合

☎160-0023

東京都新宿区西新宿7丁目21番20号(関交協ビル)

Tel.03-5337-1750 Fax.03-5337-1765

関交協

検索



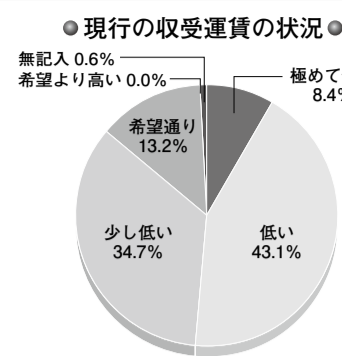
東ト協連 第21回 運賃動向調査 8割強が希望運賃収受できず

東京都トラック運送事業協同組合連合会がこのほど、第21回「運賃動向調査」結果をまとめた。引き続き8割強の事業者が希望する運賃を収受できていない。また燃料サーチャージ導入は1割強にとどまり、転嫁の難しさをうかがわせる。

同調査は年2回実施。今回の対象時期は7月31日現在。回答数は167事業者。

運賃の収受状況は、希望運賃より「低い」との回答が合計86・2%で、前回調査比3・2%低下したが、引き続き多くの事業者が希望する運賃を

燃料サーチャージ1割程度



運賃交渉の有無に関しては、最近半年間に荷主に「交渉した」との回答が47・3%で前回より3%で前より12・4%上昇し、1年前に比べるると17・5%も増加した。ただ一方で「交渉していない」が合計52・7%と5割強に上り、交渉したにもかかわらず、状況にある。

最近の荷動き状況については、「活発化」との回答が合計21・0%で前回より16・8%も低下する一方、「悪化」は合計25・2%で同9・2%上昇。荷動きが低調になつてき

ていることを示している。東日本大震災後、「荷動きが戻ってきていない」とする事業者が多く、6割強がその影響から抜けていない状況。

燃料高騰の影響も深刻になっており、運送収入に占める燃料費の割合は「10%未満」が減少する一方、「10%以上20%未満」が51・5%に上昇し、半数を超えた。

また運転者の充足状況や高齢化しつつある。

東ト協関係3人が受賞

関東運輸局は平成26年度「自動車運送事業者表彰式」を10月23日、横浜市神奈川県立青少年センターで、会関係では3人が受賞した。



今年度は、同局管内1都7県のトラック部門58人、バス部門158人、タクシー部門61人(うち法人48人)の合計277人を表彰。トラック部門を代表して、大崎太郎さん(西多摩運送)が又野己知局長から表彰状を授与され

警視庁 事故防止対策の強化を

警視庁は、廣田耕一交通部長名の協力要請文が危ぶまれる状況にある。

このため、特に事故多発時間帯の取り締まりを強化する。同時に、同庁本部庁舎勤務の警察官を現場の第一線に投入し街頭活動を強化するなど、全庁挙げて事故防止に当たっている。

あわせて、東ト協などに事故防止対策の推進を呼びかけているものだ。具体的には、運転者に對して、見通しの悪い交差点における一時停止と安全確認の励行、前方側方を通行する歩行者や自転車の動静注視、トワイライト・オン運動の推進などについて、指導を徹底するよう求めている。

全ト協 第46回 全国ドラコン 内閣総理大臣賞 四手井さん(京都府代表) プロドライバー日本一に



安全運転センター安全運転中央研修所で行われた。競技の結果、4部門では前田重人さん(西日本日立物流サービス兵庫営業所)、11部門では総合優勝の四手井さん、トレーラ部門では川路雄介さん(日本通運鹿島支店)、女性部門では森田泰子さん(日本通運鳥取支店)がそれぞれ優勝。各部門優勝者には警察庁長官賞、全ト協会長賞が贈られた。

安全運転センター安全運転中央研修所で行われた。競技の結果、4部門では前田重人さん(西日本日立物流サービス兵庫営業所)、11部門では総合優勝の四手井さん、トレーラ部門では川路雄介さん(日本通運鹿島支店)、女性部門では森田泰子さん(日本通運鳥取支店)がそれぞれ優勝。各部門優勝者には警察庁長官賞、全ト協会長賞が贈られた。



新刊紹介

「ヒューマン・ロジスティクス 一人づくりによる自律的な組織へ」 小野達朗 著

著者の小野氏は、富士フィルム・物流子会社の元社長で、その経験と実績などを踏まえ、「ロジスティクス」の要諦を説いたのが本書。

表紙に「ロジスティクスは『知恵を使って働く人』によって動く」とあるように、その要諦は、物流現場を動かす「人づくり」にあると説く。本書は、そのための人材教育や仕組み、組織作りを主なテーマとしたもので、実際に取引のあったトラック運送関係の事例も、多く紹介している。

第1章「物流」のイメージは?、第2章「ロジスティクスを経営の軸に!」、第3章「見える化」で強い企業をつくる、第4章「物流業の環境変化を考える」、第5章「ロジスティクスの人材強化」、第6章「ヒューマン・ロジスティクス」で構成。

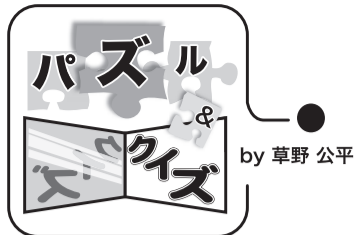
エル・スリー・ソリューション発行 03・5473・0151 A5判・160頁/1,500円(税別)

運行管理者国家試験対策テキスト 平成27年3月版 過去の問題の解説と実践模擬問題

【貨物自動車運送事業編】税込価格2,592円 お求めは東京都トラック協会各支部または下記まで

平成26年版(7月刊) 自動車六法 定価 5,940円(税込)

(株)輸送文研社 <柏林書房> TEL.03-3861-0291(代) FAX.03-3861-0295



クロスワードパズル

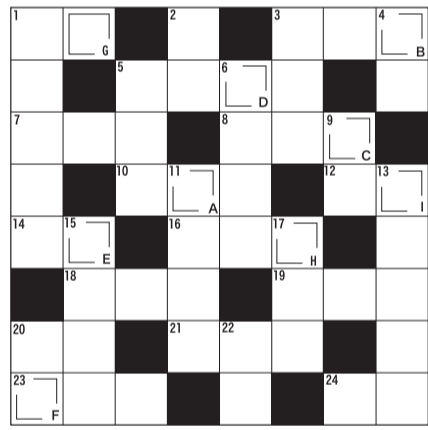
クロスワードを解いて、A~Iを順に読んでください。それが答えです。

タテのキー

- ①七五三に付き物のお菓子
- ②〇〇は二物を与えず
- ③転回すること。U〇〇〇
- ④下手なプレーをすると観客の〇〇が飛ぶ
- ⑤漫画の主人公で父は波平、弟はカツオ
- ⑥両目が飛び出している金魚
- ⑦燃料にする材木
- ⑧頭の〇〇〇〇を絞って良いアイデアを出してほしい
- ⑨不用品や廃棄物の再利用
- ⑩声を出さずに読むこと
- ⑪苦痛や苦境を耐え忍び辛抱すること
- ⑫暗くて物の見えない状態
- ⑬夫の面倒をよくみる〇〇女房

ヨコのキー

- ①都道府県行政のトップ
- ②自動車にも自転車にもついてるもの
- ③英語で日曜日のこと
- ④足をくずさずにきちんとした姿勢で座ること
- ⑤ラーメンに付き物のタケノコの加工食品
- ⑥鍋などに入れる細いキノコ
- ⑦視界が悪くなる気象現象
- ⑧忘れないように書き留めておくこと
- ⑨スエズやパナマが有名
- ⑩堅い殻に覆われた果実、漢字で書くと胡桃
- ⑪手術のとき〇〇〇〇をかけると痛くない
- ⑫旅先で泊まる場所
- ⑬ルーツのことです
- ⑭⇒マクロ
- ⑮大きなサイズのこと



応募方法

官製はがきに、①答え②あなたの住所・郵便番号③会社名④氏名⑤年齢⑥本紙へのご意見・ご要望を明記し、お送りください。正解者の中から抽選で3名様に図書カード(1,000円分)をプレゼント。

●宛先=〒160-0004 新宿区四谷3-1-8 (一社)東京都トラック協会 広報部「トラック時報」係

●締め切り=11月末日(正解は12月10日号に掲載)

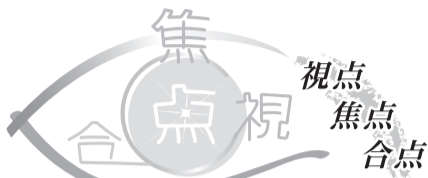
☆インターネットでのご応募も可能です。http://www.totokyo.or.jp/ ☆インターネット応募の場合、解答フォームをご利用ください。東ト協HPトップ「会員の方へ」をクリックし、次ページ右の「トラック時報パズル&クイズに応募」へ。

★10月10日号「二字熟語のしりとりにパズル」の正解は「着信」でした。

ルノワール「宝石をつけたガブリエル」



幅6枚のモネ「睡蓮の池、夕暮れ」とサポーターの黒柳徹子さん



文と写真= 写真家・石黒健治 http://ishigurokenji.com

副題の《印象派からエコール・ド・パリへ》の通り、シスレー、モネから、世界中の芸術家がパリへ集まり黄金時代を作ったルオー、ユトリロ、藤田嗣治、シャガールなどが魅力的です。が、何と云っても一番人気はルノワールでしょう。「宝石をつけたガブリエル」の前は、いつも人だかりが解けません。夢見るようにあこがれたパリの芸術。これらはすべて、一人の日本人コレクターの持ち物だそう。誰なのかは匿名希望とかで教えてもらえませんでした。



ゴッホ「サント=マリーの白い小屋」

【夢見るフランス絵画展】 Bunkamura ザ・ミュージアム / 12月14日まで 休館日なし / 問い合わせ ☎03-5777-8600 / 観覧料: 一般1,400円、大学・高校生1,000円、小・中学生700円

【チューリヒ美術館展】 国立新美術館 / 12月15日まで 火曜休館 / 問い合わせ ☎03-5777-8600 / 観覧料: 一般1,600円、大学生1,200円、高校生800円、中学生以下無料

【赤瀬川原平の芸術原論展】 千葉市美術館 / 12月23日まで 休館日: 12月1日 / 問い合わせ ☎043-221-2311 / 観覧料: 一般1,000円、大学生700円、小・中学生、高校生無料

モネとルノワールとセザンヌとゴッホ

【夢見るフランス絵画展】と【チューリヒ美術館展】

芸術の秋—

今年は例年よりも豪華版の美術展がそろったような気がします。景気が良いせい? のはずはないが、会場へ入ってぐるりと、わたり見渡せば、ひと目、数十億円という桁違いの作品がずらりと勢揃い。絵の良さは理解できなくても、高価なものらしいとだけは分かる、というものです。

セザンヌ「大きな松と赤い大地」



夢見るフランス絵画展

渋谷のBunkamura ザ・ミュージアムでは、まずセザンヌの「大きな松と赤い大地」。故郷のプロバンスの風景を描いた晩年の作品です。

副題の《印象派からエコール・ド・パリへ》の通り、シスレー、モネから、世界中の芸術家がパリへ集まり黄金時代を作ったルオー、ユトリロ、藤田嗣治、シャガールなどが魅力的です。が、何と云っても一番人気はルノワールでしょう。「宝石をつけたガブリエル」の前は、いつも人だかりが解けません。夢見るようにあこがれたパリの芸術。これらはすべて、一人の日本人コレクターの持ち物だそう。誰なのかは匿名希望とかで教えてもらえませんでした。

チューリヒ美術館展

六本木まで足を延ばし、国立新美術館へ。こちらの副題は「印象派からシュルレアリスムまで」。同じ印象派でもずいぶん印象が違います。ルソー、ムンクからシュールレアリスムのダリまでを網羅しています。スイスの作家ジャコメッティも。目玉はモネの縦2枚幅6枚の大傑作のようです。日本人のモネ好き、特に「睡蓮」好きはなぜなのか、不思議です。むしろ、ゴッホとピカソの前で圧倒されて動けなくなった自分を発見したのでは?。

チューリヒは、小さいながら金融で栄えた都市です。美術館の20万点の収蔵品の3分の2が寄贈によるもので、「睡蓮」も個人の寄贈です。

赤瀬川原平の芸術原論展

若い頃、モネにあこがれて画家を目指したという赤瀬川原平さんの集大成「芸術原論展」が始まりました。ネオ・ダダ時代から裁判史に残る「千円札裁判」、「トマソン」と路上観察等々、いつも不思議な面白がり屋で、芥川賞作家でもありました。オーブニングの2日前、10月26日に亡くなりました。

ネオ・ダダ時代の赤瀬川原平さん



ポケット

販売後も、8年間は安全性についてのチェックを徹底します。ここまでやるのは、服用で重い副作用が出たり、場合によっては死んでしまう可能性も考えられるからです。危険ドラッグは向精神薬

危険ドラッグは向精神薬... 危険ドラッグは向精神薬... 危険ドラッグは向精神薬...

危険ドラッグと認知症

危険ドラッグは向精神薬... 危険ドラッグは向精神薬... 危険ドラッグは向精神薬...

危険ドラッグは向精神薬... 危険ドラッグは向精神薬... 危険ドラッグは向精神薬...

危険ドラッグは向精神薬... 危険ドラッグは向精神薬... 危険ドラッグは向精神薬...

医療と介護

医療ライター 西 健悟

危険ドラッグ「ハートシヨット」によって、9月中旬から約1か月間に15人が死亡し、この薬物による交通事故も同時期に40人上ったそうです。死因は明らかにされています。死因は明らかになっています。死因は明らかになっています...

危険ドラッグは向精神薬... 危険ドラッグは向精神薬... 危険ドラッグは向精神薬...

最近「再生エネルギー買取制度」をめぐって、問題が発生している

再生エネルギーの普及を促すため、太陽光や風力、地熱、バイオマスなどの分野の電力を電力会社が一定価格で買い取る制度であるが、この制度の実施に当たって混乱が広がっているという。マスコミで大きく取り上げられているので、周知されている事実だが、混乱の根幹は「太陽光発電業者が増えすぎて、電力会社は再生エネルギーの受け入れ中断に追い込まれている」とにある。制度として、その電気代は企業や家庭に上乗せし、負担金は最終ユーザーの負担となる。ところが、太陽光発電業者が続出した結果、発電量が増えすぎ、電力会社の受け入れ能力をオーバーしたためである。現在は太陽光発電が再生エネルギー全体の96%を占めている。再生エネルギーが普及すれば、原子力に頼らずに済むと考えたのであるが、やってみたら思惑は外れてしまった。物事はそう簡単には進まない。電力は社会や産業の中心にあり、その価格が高騰してもらっては困る。なかなか世の中、思うようにはいかないものである。